



# 確率の計算

ある試行のどの根元事象が起こることも同程度に期待される時、これらの根元事象は**同様に確からしい**という。

全事象  $U$  のどの根元事象も同様に確からしいとき、事象  $A$  の確率  $P(A)$  は、

$$P(A) = \frac{\text{事象 } A \text{ の要素数 } n(A)}{\text{全事象 } U \text{ の要素数 } n(U)}$$

# 同様に確からしいに注意せよ

問題：「0」，「1」，「2」の3枚のカード。  
1枚引いて、戻して、もう一度引く。引いた  
2枚のカードの和が2となる確率は？

(答え) 2つの数字の和の候補は、

$\{0\}, \{1\}, \{2\}, \{3\}, \{4\}$  ← 根元事象

だから、和が2となる確率は、

$$P(\text{和が2}) = \frac{n(A)}{n(U)} = \frac{1}{5}$$

# 同様に確からしいに注意せよ

根元事象を  $\{0\}, \{1\}, \{2\}, \{3\}, \{4\}$  としたが、  
これで正しく確率を計算できるか？

和	0	1	2	3	4
	(0, 0)	(1, 0)	(2, 0)	(2, 1)	(2, 2)
		(0, 1)	(1, 1)	(1, 2)	
			(0, 2)		

こっちが同様に確からしい根元事象！

正しくは、
$$P(\text{和が}2) = \frac{3}{9} = \frac{1}{3}$$

繰り返すにはなるが・・・

全事象  $U$  の どの根元事象も同様に確からしい  
時、事象  $A$  の確率  $P(A)$  は、

$$P(A) = \frac{\text{事象 } A \text{ の要素数 } n(A)}{\text{全事象 } U \text{ の要素数 } n(U)}$$

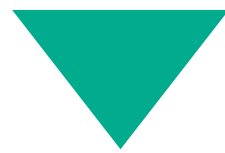
同様に確からしい根元事象を探し出す！

✗ 根元事象は  $\{0\}, \{1\}, \{2\}, \{3\}, \{4\}$  だ。

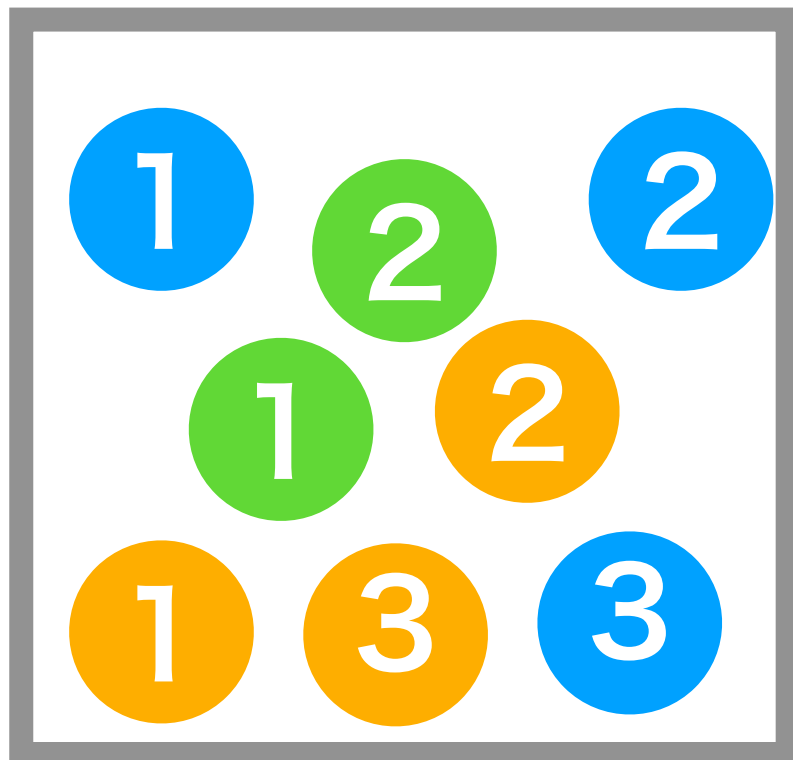
○ 根元事象は  $\{(0, 0)\}, \{(1, 0)\}, \dots, \{(2, 2)\}$  だ。

# 同様に確からしい根元事象を探す

複数個のサイコロ、複数個の硬貨など



名前をつけて区別！



例) 2つ取り出しどちらも青。  
取り出し方は、  
(青1, 青2), (青1, 青3), (青2, 青3)  
のいずれか。

# まとめ（確率の計算）

ある試行のどの根元事象が起こることも同程度に期待される時、これらの根元事象は**同様に確からしい**という。

全事象  $U$  のどの根元事象も同様に確からしいとき、事象  $A$  の確率  $P(A)$  は、

$$P(A) = \frac{\text{事象 } A \text{ の要素数 } n(A)}{\text{全事象 } U \text{ の要素数 } n(U)}$$